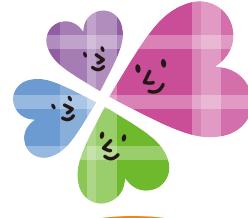


秋田県男女共同参画情報誌【ラ ヴィータ】



# La vita

ラ ヴィータ：イタリア語で“生命・人生・生活”

特集

できることから、  
少しずつ。

～家族って？結婚って？～

vol 79

2012.2.29



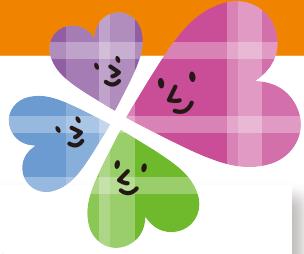
ラ ヴィータな人々  
～育休をとった男たち～

いきいきクローズアップ  
「河辺わさび座」(秋田市)

男女イキイキ職場訪問  
「特別養護老人ホーム 扇寿苑」(大館市)

知ってるつもり！?  
イマドキの男女共同参画  
「男の料理」

いんふおめーしょん  
「ハーモニーフェスタ2011を開催しました」  
「秋田県男女共同参画社会づくり表彰」



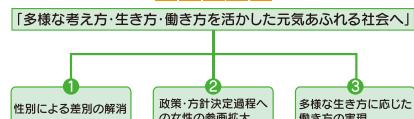
第3次ハーモニープラン(愛称)

## 第3次秋田県男女共同参画推進計画

(平成23~27年度)



### 計画の目標



秋田県

## 第3次秋田県男女共同参画推進計画(愛称・ 第3次ハーモニープラン)で3つ目の目標に掲

げられているのは、仕事も家事も男女が共に取り組むことを推進の柱とする「多様な生き方に応じた働き方の実現」です。

少子高齢化が進む現在、仕事と家庭とのバランスを整えて、自分らしい毎日を送るために、どんなことが必要なのでしょうか。

# できることから、少しずつ。

特集1

あきたイクメンネットワーク 代表／本田正博さんに聞く



代表の本田さんと末っ子の息子さん

### 秋田でも増えています! パパの育児サークル

子育て中の親たち・子どもたちの遊びや情報交換の場として重宝されている育児サークル、その参加者のほとんどはママたちです。しかし、数年、「育児を積極的に率先して行う男性」ということを指す「イクメン」という言葉をよく耳にするようになりました。ゆるやかではありますが、秋田県内各地でも、そんなパパたちのための育児サークルが誕生し、「パパ友」の輪が広がりつつあります。

12月は4家族が集まり、クリスマスのリース作りに挑戦しました。この冬一番の雪が辺り一面に積もったので、子どもたちは大喜び。お父さんに手伝ってもらいながら、大きな雪だるを作っていました。県外から秋田へと越してきたメンバーの方は「新しい仲間ができるのが嬉しいし、人見知りがちだった娘も、ここに来るようになつてからは積極的に遊べるようになりました」と話してくれました。

秋田市を拠点に活動する「あきたイ

クメンネットワーク」は、平成22年の春に代表の本田正博さんが立ち上げたパパたちのためのサークルです。子どもたちの対象年齢は0歳から小学6年生まで。パパと子どもが一緒に遊んで学び、親子の絆を深めたい。そして、日頃忙しいママたちに少しでも自由になれる時間を作つてあげたい。これがサークル活動の目標です。

パパ・サークルといつても、何でも完璧にこなせる父親を目指すグループではありません。家族の誰もが気軽に参加でき、遊べる場を提供しています。毎月1回のペースで集まり、家庭菜園での畑づくりや収穫体験、バーベキューなど季節に合ったイベントを開催します。

12月は4家族が集まり、クリスマスのリース作りに挑戦しました。この冬一番の雪が辺り一面に積もったので、子どもたちは大喜び。お父さんに手伝ってもらいながら、大きな雪だるを作っていました。県外から秋田へと越してきたメンバーの方は「新しい仲間ができるのが嬉しいし、人見知りがちだった娘も、ここに来るようになつてからは積極的に遊べるようになりました」と話してくれました。



楽しいな、パパと一緒にリースづくり

たくさんの家族が集うなか、聞こえてきたのは「家事も手伝って欲しいな」という母親たちのホンネです。本田さんはこの活動を通じて子育てには家事が重要なことに気づいたそうです。

本田さんも、2歳から11歳までの4人のお子さんを持つ「子育て中のパパのひとり」。家庭では、料理以外の家事なら何でもできるそうです。「共働きなので、家事に協力するのは当たり前のことですしそうしないとやっていけないんです」。

平日は仕事だけで精一杯というお父さんも多いのではないかでしょうか。「どんなに忙しくても自分ができる範囲で時間を作ることが大切ですし、意外に何とかなるもんですよ」と本田さん。男性でも、住む地域も違う仲間たちが集まり交流できる場所は、父親たちにとっても大切なかもしません。

## 時間を作る大切さ

「このサークルは、私の家族を含めて3組の親子でスタートしました。人が集まるのか不安もありましたが、ホームページで情報発信しながら活動を続けて約2年。今では20組の親子が登録しています。最初はお母さんがお父さんを引っぱって来るんですが（笑）、回を重ねるごとにお父さんとお子さんだけで遊びに来るケースが多いですね」と本田さん。年齢も、仕事

も、女性でも、自分に与えられた時間を作り盛りしていくか、「ワーク・ライフ・バランスを実践するためのヒント」があるようです。

も、女性でも、自分に与えられた時間を作り盛りしていくか、「ワーク・ラ

イフ・バランスを実践するためのヒント」があるようです。

## 身近なところから挑戦してみよう

今後の活動における課題は、これまでの遊びに加え、夫婦揃って子育て、家事、仕事をうまくやっていけるような仕組みづくりだそうです。「でも、男たちが家事をマスターするために、いきなり講演会や講習会を開くのではなくハードルが高すぎます。例えば、布団のたたみ方を覚えるなど、身近な暮らしの中で現実的な選択をしながら、父親の力が發揮できる分野を少しずつ広げられたらいいなと思います」。育児サークルは、「子どもだけではなく親たちも成長し、意識を高められる場で

あることがわかりました。

「あきたイクメンネットワーク」で

は、「ネットワーク」という言葉どおり、インターネットでも活動情報や子育て

情報の発信をしています。子育てを樂

しみたい、パパ活友をつくりたい、そして

家族とより良い関係を築きたいと思っ

ているパパたちはぜひ一度、サークル

のホームページまでアクセスしてみてください。



家族みんなで気軽に遊びにきてください！  
「あきたイクメンネットワーク」ホームページ  
<http://oyako-kizuna.com>

Check!



## 特集②

# お互いの気持ちを云々口おつ

しゃべり場「結婚って？」開催中の  
NPO法人いきいきネット秋田／見上裕子理事・佐藤加代子理事に聞く



## みんな親を気遣っている

### 一語り合いから見えてきたことは？

みなさん親孝行です。「私が婿をどうなくてはいけない」とか「親の面倒を一緒に見てくれる相手はどうか」と考えている。一人っ子、一人っ子が多いので、それが結婚していくくなっている要因の一つではないでしょうか。また、「自立していく、収入が自分より高い女性には引いてしまう」という男性がいる一方で、「収入は十分ではないが、ぶつかり合いながらも2人で話しあうてやっている」という男性もいます。「周囲に、結婚して楽しんでいる人を見たことがない」と語る人に対し、先輩参加者から「私は楽しいよ」という話も出て、世代間交流も生まれています。

—仕事も家事も男女で取り組むには、結婚観がカギになりますね。しゃべり場が始まったきっかけは？

昨年9月、2回シリーズで結婚セミ

ナー「しあわせになるために」を開き、法律に見る結婚やなぜ結婚するのか、コミュニケーションの大しさなどを学びました。その後、参加者たちが「これで終わらせずに、自分たちでしゃべり場をやりたい」と、毎月1回、20代から50代の男女十数名で集まっています。信頼に基づく人間関係を基点として、本音で語り合う場になっています。

## こだわりを捨ててほしい

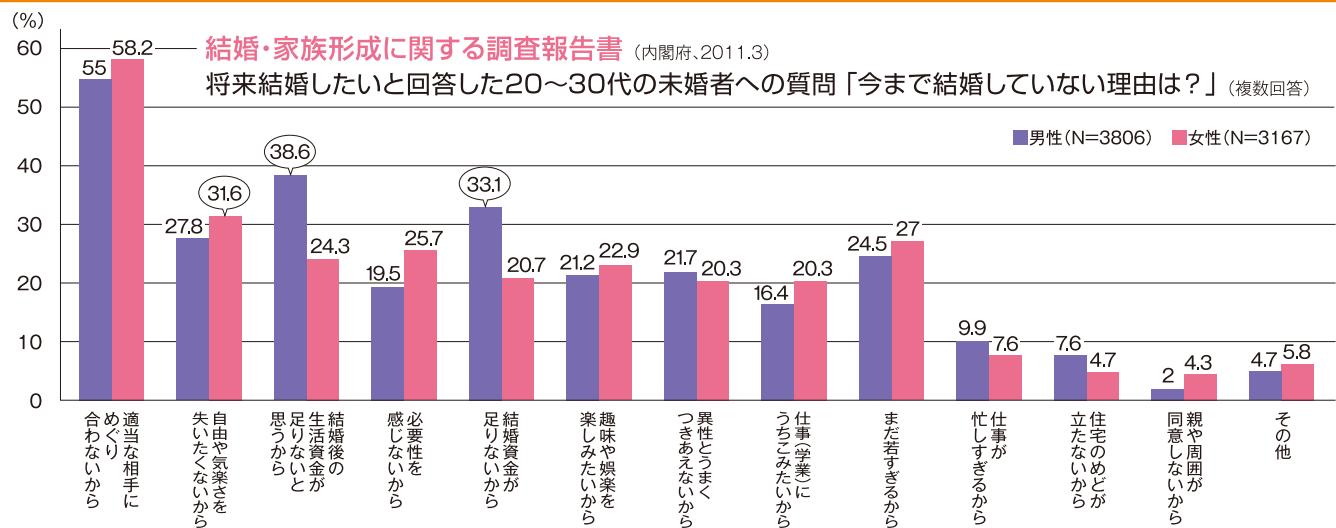
### 一現状を打破するには？

当事者も親も周囲も、年収や男らしさ・女らしさなどへのこだわりをなくす



しゃべり場は毎月第3木曜日／18:30～20:30  
同法人が指定管理している秋田県中央男女共同参画センター(アトリオン6F)で開催。参加自由。  
申し込み・問い合わせ／TEL018-836-7853

せば、可能性が広がるのでは。親を思  
うあまり、親のことを中心に若い人たち  
は結婚を考えているようです。そ  
ではなくて、信頼関係の中で、親は親  
の人生を、子は子の人生を送るよう  
に、親も意識を変えないといけない。  
結婚はお互いが自分を活かしながら  
相手を思いやるもの。それには、結  
婚したから出来ないとあきらめるの  
ではなく、自分の気持ちを伝え合う  
力をつけることができる大事です。仕事も  
家事も共にわけ合えば、幸せな生活  
に近づくことができるのではないか  
でしょうか。



「夫婦で育児休業を取得する」という選択肢を検討する中で、妻の希望もあり、夫は育児休業を取得することに決めました。夫は育児休業を取得することで、妻の負担を減らすことができたと感じています。

夫は育児休業を取得することで、妻の負担を減らすことができたと感じています。

夫は育児休業を取得することで、妻の負担を減らすことができたと感じています。

### 周囲の勧めで取得

## 「子育てのスタートを妻とともに」



秋田ふるさと農業協同組合 金沢総合支店  
東海林 浩さん(37歳)  
平成21年11月に10日間の育児休業を取得



おひつしょんだよ!

パパのフレンチトースト  
大好き!

夫である私の役目は、よい状態で妻が子どもと接することができるよう、育児を任せきりにせず積極的に手を差し伸べ、妻の心身の疲れを和らげることだと強く感じました。夫婦ふたりで子どもに「こころの栄養」を注ぐためにも、お互いに協力し合うことの重要性を改めて感じました。

娘が2歳になった今、保育園の送迎や食事のしたくは主に私の担当です。あの休暇を経験し、二人で子育てをスタートさせたからこそ、未熟なりにも父親になる覚悟ができたような気がします。

娘が2歳になった今、保育園の送迎や食事のしたくは主に私の担当です。あの休暇を経験し、二人で子育てをスタートさせたからこそ、未熟なりにも父親になる覚悟ができたような気がします。

### 総務部人事課 戸田まり子係長のお話

制度が整っているのだから、思い切ってこの機会に育休をとつてみたら、と東海林さんに提案したところ、本人も取得に積極的でした。

現在は、家庭も仕事も大切にして上手に両立させていくようです。

その後、男性1名が育休を取得しました。申し出があれば、業務の面と相談しながら勧めたいと思います。

### 心の充電期間

育休を取得しなくとも、子どもとの関係を結ぶお父さんはたくさんいると思います。しかし私にとっては必要なことでした。自分が育児



## 仕事と育児・家庭の両立支援に取り組む企業を応援します! パート3

現在、県では、従業員のライフステージに応じた柔軟な働き方や休暇・休業の取得がしやすい職場の実現に向けて、仕事と育児・家庭が両立できる環境づくりに取り組んでいる企業に、奨励金を支給しています。

研修を実施した企業において、男性従業員が連続して10日以上の育児休業を取得した場合に、従業員本人と事業主に奨励金を支給します。

### 研修会

専門アドバイザーを講師に「仕事と家庭の両立支援」に関する社内研修を開催します。(無料)

### 奨励金

(1) 休業取得者奨励金 …… 5万円(休業期間3ヶ月未満)  
…… 20万円(休業期間3ヶ月以上)  
(2) 事業主奨励金 …… 20万円(1回限り)

※他にも必要な要件があります。

支給要件や申請方法など、詳しくは秋田県少子化対策局 (018-860-1249) まで

## 「河辺わさび座」(秋田市)



秋田市制120周年記念公演「家族の絆 老いを迎えて」(2008年)

平成12年旧河辺町のコミュニティ祭で、子どもの食生活の大切さをわかりやすく伝えたいと寸劇を始めたのがきっかけ。数名の女性有志が「子どもが危ない」というタイトルでシナリオを作り舞台にしたところ、

今までに座員の入れ替わりはありましたが、福祉大会・自治会・PTA・地域公民館・医師会等々、公演依頼は途切れる事なく続き、いろいろな場所で75回以上の公演を重ね、10年目の節目の年には、秋田県より「元気なふるさと秋田づくり地域活動表彰」

今までに座員の入れ替わりはありませんでした。今までに座員の入れ替わりはありませんでした。今までに座員の入れ替わりはありませんでした。

劇団員は主婦や元学校の先生など8名で構成され、練習は月2回ほど河辺市民センターなどで行い、コミセンや公民館・イベント会場などで公演を重ねています。最初は棒読みでセリフを話し、手などにセリフを書いていた状態でしたが、今では自分で舞台上でアドリブが出来るほどになりました。

現実に即したホットな話題を新作のテーマに決め、認知症・非行・男女共生・自殺・介護などシナリオを考え、演出し、小道具を用意し、みんなで楽しく舞台を作り上げています。

劇団員は主婦や元学校の先生など8名で構成され、練習は月2回ほど河辺市民センターなどで行い、コミセンや公民館・イベント会場などで公演を重ねています。最初は棒読みでセリフを話し、手などにセリフを書いていた状態でしたが、今では自分で舞台上でアドリブが出来るほどになりました。

思いがけない大反響が発端となり、平成13年に「河辺わさび座」が誕生しました。

劇団の名前は、故大山博美町長より、町の花「わさび」にちなんで「河辺わさび座」と命名されました。

「綺麗ごと」でなく、中途半端ではなく、そして何より見た人が元気になってくれる演技」をモットーとして、これからも人間の絆の大切さを主題とした演劇づくりのため、精進を重ねて、公演を通じての輪を広げていきたいと座員の方々はさらなる向上を目指しています。



河辺わさび座 代表:石塚小枝子  
事務局／TEL.018-883-2196



### 南部男女共同参画センターでお待ちしています！

センターは、性別に関わりなく、その人らしい生き方ができる男女共同参画社会実現のために、県が設置した施設です。交流サロンや研修室も利用できます。どうぞ気軽に立ち寄りください！

〒013-0046 横手市神明町1-9 TEL0182-33-7018  
開館時間／平日:午前9時～午後9時／土・日・祝日:午前9時～午後5時  
休館日／毎週木曜日、12/29～1/3  
※節電・停電等により、開館時間を縮減している場合があります。事前に電話などで御確認ください。





大館市比内町にある

## 「特別養護老人ホーム 扇寿苑」に おじゃまします。



育休中に挨拶にきた職員と

はよいことだと思っています。

また、若い職員が多いということもあります。一つには育児休業です。取得し易い雰囲気づくりを心がけており、現在も4名が取得中で、ここ数年間取得者が継続して出ていますね。1歳頃まで取得して復帰する職員が多いです。

またもう一つには、子の看護休暇です。子どもが小学校を卒業するまでの時間単位で取得できるよう拡大しているので、復帰後の職員にも大変好評で、男性の取得もあるんです。

こうしたことから、結婚や出産を理由に離職する職員はいません。先輩達の様子を見たり話を聞いたりすることで、他の職員も多少なりとも理解してくれるかもしれません。

若い世代の人たちが、子どもを育てながら働く姿を間近に見ることができて、働き続けることができるのではないかと思っています。

「職場環境としては、女性の管理職が増えていくことが挙げられると思いま

す。「同性には相談しやすい」という声が多く聞かれ、コミュニケーションが良くなりました。男女が共に管理職にいるのはよいことだと思っています。

大館市比内町にある特別養護老人ホーム扇寿苑を訪ねました。外は白い雪で覆われていましたが、中は快適でゆったりとした時間が流れています。男性28名、女性48名で若い職員も多い職場です。

そこで、施設長の安保雅幸さんから、男女が共にいきいきと働き、仕事と家庭を両立させるための取り組みについてお話を伺いました。

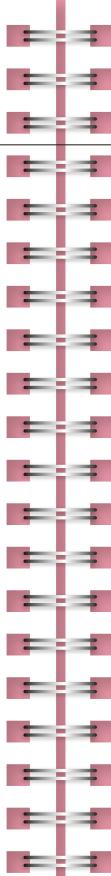
「職場環境としては、女性の管理職が増えていることが挙げられると思いま

るつもり!?

## イマドキの男女共同参画

ひと昔前までは「男子厨房に入るべからず」なんてフレーズをよく耳にしたものですが、時代の変化とともに「男の料理」がごく身近なものとして定着しつつあります。テレビでは、毎日のように男性タレントや料理研究家が豪快で手際よい腕前を披露していますし、ネットや書店でも男性向け料理のレシピがいろいろ。「おつまみ」や「こだわりの調理器具」などテーマを絞り込んだ本や雑誌もありますね。

「いざ始めてみると、思っていた以上に楽しい」という声も多い男の料理には、どんなメリットがあるのでしょうか?



## 「男の料理」



### 世代別 男の料理のメリット

#### 独身男性

「料理上手の男性は、女性からの好感度アップにつながる」とも言われています。自炊は食費を抑えられて経済的ですし、出来合いのお惣菜やインスタント食品よりもバランスのとれた栄養を摂ることができます。

#### パパ活世代

家族の団欒のひとつとして、お休みの日は料理に挑戦する男性も多いようです。キッチンに立ちながら、ママや子どもたちとコミュニケーションを図ることで、パパ活の株がぐんとアップするかも!?

#### シニア世代

妻の介護や突然の入院など「まさか」の時に備えて、料理を覚えておくと便利です。最近では各地域や市町村でも「包丁を握ったことがない」という初心者向けの男性料理教室が数多く開催されています。

連載♪

## まいちゃんの素朴な疑問



仕事も家事も共にわけ合うー。  
相手を思いやる気持ち  
忘れていませんか?

### 編集後記

今年度のラヴィータは「第3次秋田県男女共同参画推進計画」の3つの柱をテーマに、できるだけ身近な切り口から特集を組んでみました。毎回の取材を通じて、私自身もいろいろと学ぶことのできる1年になりました。（伊藤美生）

未婚者たちの婚活・出会いの場だけでなく、しゃべり場「結婚って!？」のような既婚者も交えた自由な語らいの場がもっとあればいいと思います。結婚するしないは別としても、年代や立場を超えて多様な考え方・経験を出し合うことで自分の生き方が見えたり、結婚のハードルも低くなるのではないか。（佐藤万里子）

いんふおめ～しょん

## ハーモニーフェスタ2011を開催しました



男女共同参画について理解を深めてもらうため、10月22日(土)に横手市のY2(わいわい)ぶらざで、「あなたの活躍が地域を変える」と題して行われたハーモニーフォーラムでは、女性の活躍について意見が交わされたほか、男女共同参画をテーマにした朗読劇や男女イキイキ職場宣言事業所の事例発表、団体活動のパネル展示などを実施して、参加者に楽しみながら男女共同参画について考えていただきました。



## 秋田県男女共同参画社会づくり表彰



**【ハーモニー賞】**  
潟上市ハートフル実行委員会

成人式でのデートDV予防の啓発活動や市民に対しての対話劇の実施など、地域に根ざした啓発活動を続け、男女共同参画社会の実現に向けた普及活動に尽力しています。



**【チャレンジ賞】**  
佐々木久美子さん

保育施設の開設に始まり、NPO法人の認証後は地域交流を生み出す子育て支援活動を次々と展開。さらに、認可保育園の開園やホームスタート事業の開始など、新たな取り組みにも挑戦し続けています。

※ホームスタートとは、家庭訪問型の子育て支援のことです。



「La Vita」を読んでの“ご意見・ご感想”をお寄せ下さい。お待ちしています。

秋田県生活環境部男女共同参画課 〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

TEL.018-860-1556 FAX.018-860-3895 E-mail:persons@pref.akita.lg.jp